

競技注意事項

2022西三河通信大会

- 1 本大会は2022年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会要項によって実施する。新型コロナウイルス感染症拡大防止策を考えた競技会のため、競技注意事項に記載されている『感染防止のための全般的な注意事項』の内容を遵守すること。
- 2 アスリートビブスについて
 - (1) ユニフォームの胸部、背部に必ず固定しておくこと。
 - (2) 跳躍競技については、いずれか一方のみでもよい。
 - (3) トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識をつける。腰ナンバー標識は招集所で貸与する。レース後、ゴール付近に設置してある回収所に返却する。
- 3 ウォーミングアップについて
 - (1) 競技場内でのウォーミングアップはできない。競技場周辺を利用すること。ただし、一般利用客の利用の妨げになるような使い方は厳に慎むこと。また、感染症予防の観点から、各自でウォーミングアップを行い、**集団でのジョギングやドリル、体操などは行わない**こと。
 - (2) 器具を使つてのウォーミングアップはしないこと。
 - (3) ハードル種目とリレー種目は、タイムテーブルに記載された時間のみ、競技場内での練習を許可する。
- 4 招集について
 - (1) スタンド裏の**芝生広場南東側に設置**する。チェックを受けた競技者はスタート10分前にスタート地点及び競技場所に集合する。
 - (2) 招集の受付は本人が行い、時間に遅れた者は棄権とみなして出場を認めない。
 - (3) 招集開始時刻及び招集完了時刻は、種目により、また組により違うので競技時間の表を確認する。招集開始時刻前に招集所には来ないこと。
 - (4) リレーのオーダー用紙は、招集完了60分前までに招集所に提出すること。
 - (5) **フィールド競技は現地で招集を行う**。
- 5 競技場への入退場について
 - (1) 入場は、すべて別紙の選手の動線に従って行う。退場も同様とする。
 - (2) 競技終了後、必ず手洗いをを行うこと。
- 6 レーン順・試技順について
トラック競技のレーン順及びフィールド競技の試技順は、プログラムの数字で示す。
- 7 競技について
 - (1) トラック競技について
 - ① すべて写真判定装置を使用する。
 - ② レーンで行う競技においては、欠場者のレーンは空ける。
 - ③ 短距離競走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲走路）を走って止まる。
 - ④ リレーのマーカ―は、主催者が用意したものを使用する。
 - ⑤ 低学年4×100mR（OP）のオーダーは、第1・4走者を2年生、第2・3走者を1年生とする。
 - ⑥ 低学年4×100mRと共通4×100mRを兼ねることは認めない。（例：予選は4×100mRに出場し、決勝は低学年リレーに出場するなど認めない）
 - ⑦ 800m競走において、競技者が9名以上で実施する場合、外側のレーンから順に2名ずつ入れる。その場合、欠場があれば、内側から若い腰ナンバー順につめるため、招集が完了し、出場者が確定してからスタートレーンを確定する。

(2) フィールド競技について

- ① 長さを競う種目の試技は3回の試技後、ベスト8を選出し残り3回の試技を行う。前半の組で競技に参加した選手で、ベスト8に残る可能性のある選手は後半の組の結果が判明するまでスタンドで待機をする。
 - ② フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の手配に従う。
 - ③ 走幅跳で助走路に使用できるマーカーは主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。
 - ④ 走高跳は2ピットを使用して行う。
 - ⑤ 三段跳の踏切板は9mで行う。
 - ⑥ 本大会では、コーチングエリアを設定しない。
- (3) 競技者は、勝手に競技場所を離れることやTR6.3.2で禁止されたビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内で所持、または使用することができない。
- (4) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告は黄色のカード、除外は赤色のカードを示すことによって競技者に知らされる。
- (5) ハードルの規格は、以下のとおりとする。

	高さ	台数	スタート～1台	ハードル間	10台～フィニッシュ
男子 110mH	91.4 cm	10台	13.72 m	9.14m	14.02m
女子 100mH	76.2 cm	10台	13.00m	8.00m	10.50m

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方（天候等の状況により変更することがある。）

	練習	1	2	3	4	5	6	7	
男子走高跳	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m73	以降3cm
女子走高跳	1m25	1m30	1m35	1m40	1m45	1m48	1m51	以降3cm	
男子棒高跳	2m01	2m21	2m41	2m61	2m81	3m01	以降10cm		
女子棒高跳	1m61	1m81	1m91	以降10cm					

※棒高跳の初めの高さは、出場者の資格記録をもとに変更することもある。

9 競技用器具について

棒高跳用ポール以外、競技に使用する器具は主催者が用意したものを使用しなければならない。

10 競技用靴について（TR5.2参照）

スパイクピンの長さは9mm以内とする。ただし、走高跳・やり投は12mm以内とする。スパイクピンは先端近くで、少なくとも長さの半分は4mm四方の定規に適合するように作られていなければならない。なお、スパイクピンの数は11本以内とする。また、使用シューズの靴底の厚さは、以下の基準を越えてはならない。違反した場合は失格とする。

種目	ソールの最大の厚さ	補足
トラック種目 (800m未満の種目、ハードル種目を含む)	20mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
トラック種目 (800m以上の種目、障害物競争を含む)	25mm	リレーにおいては、各走者が走る距離に応じて適用する。
フィールド種目 (除：三段跳)	20mm	全投てき種目と高さを競う跳躍種目および三段跳を除く、長さを競う跳躍種目に適用。全フィールド種目で、靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。
三段跳	25mm	靴の前の部分の中心点の靴底の厚さは、踵の中心点の靴底の厚さを超えてはならない。

11 表彰について

- (1) 各種目の1～3位には賞状を授与する。
- (2) A・B決勝を行う種目（3年100m・2年100m・200m・ハードル・4×100mR）は、A決勝進出者のみの対象とする。
- (3) 入賞者は成績発表後、本部表彰室にて各自受け取ること。

12 愛知県中学校通信陸上競技大会への申し込みについて

- (1) 本大会で、各種目4位（4名）に入賞した者（A・B決勝を行う種目に関してはA決勝進出者の中で、4位以内の入賞者が対象となる）、及び2021年4月1日から申し込み前日までに県通信の標準記録を突破した者（公認記録に限る。追い風参考記録は認めない）は、愛知県通信大会に出場できる。ただし、愛知県通信大会に行われる種目が対象となる。
- (2) 愛知県通信大会の申し込みは、愛知陸上競技協会ホームページを参照し、間違いのないようにする。

中学校通信陸上競技愛知県大会標準記録

公認記録に限る。追い風参考記録は認めない。

種 目	男 子	女 子
	写真判定	写真判定
1年 100m	13" 20	14" 30
1年 1500m	5' 00" 00	/
2年 100m	12" 20	13" 55
3年 100m	11" 80	13" 35
共通 200m	24" 20	27" 70
共通 400m	55" 00	/
共通 800m	2' 09" 50	2' 27" 50 ※1年 2' 35" 00
共通 1500m	4' 25" 00	5' 00" 00
共通 3000m	9' 40" 00	/
共通 100mH	/	16" 85
共通 110mH	17" 20	/
共通 4×100mR	46" 50	52" 90
共通 走高跳	1 m 6 5	1 m 4 5
共通 棒高跳	3 m 2 0	2 m 2 0
共通 走幅跳	5 m 7 0	4 m 6 5
共通 砲丸投	9 m 3 0 (5.00kg)	9 m 5 0 (2.721kg)
共通 四種競技	1 7 0 0 点	1 8 0 0 点

※リレーは、今年度の1～3年に在籍のメンバーで出した記録であること。

※女子1年800mは今年度1年生が対象である。

13 陸上競技場の使用について

- (1) 出入口はスタート側ゲートの一か所設置する。その他の入場口は使用できない。
- (2) 開門時刻前に早くから並ばないこと。自分の競技時間に合わせて来場すること。また、スタンドへは、入場開始時刻を設けるので、それに従うこと。
- (3) 今年度は応援幕・のぼり等をはることを禁止する。
- (4) 声を出しての応援は禁止する。
- (5) 清掃・ゴミ処理は、各団体、各自で責任を持って行い、環境美化に努める。競技場内にゴミ箱の設置は行わない。

14 一般的注意事項

- (1) 選手はタイムテーブル記載の競技場入場時間以前の競技場への立ち入りを禁止する。ただし、役員は7時15分から入場を許可する。
- (2) 各団体の控え席や待機場所は設置できない。
- (3) プログラム記載の氏名や所属等に訂正があれば、団体受付後、本部に申し出る。
- (4) 応急処置を必要とする事故が生じたときは、救護室において処置を行う。なお、応急処置後の治療は、本人負担とする。
- (5) 貴重品は各自で保管する。万一の事故があっても責任は負わない。
- (6) 記録のやり出しは行わない。記録速報を web 上にアップロードする。ただし、競技会終了後しばらくしたら削除する。

◆選手の人権保護の観点から、写真・ビデオ撮影について、以下の点にご協力ください◆

※保護者及び本人の了解がない撮影を禁止します。

※観客席での撮影禁止をさせていただくエリアは下記の席です。

◎100m のスタート地点より後方のスタンド

◎各種目のスタート後方

◎走高跳、棒高跳の助走後方・着地前方

◎走高跳マットに向かった正面（クリアランス動作中）

※選手がスターティングブロックの足合わせを行っている間や、試技を待っている間、身体を動かしている間など、競技の準備を行っている時。

※また他者に著しく迷惑をかける行為と主催者が判断した場合は、すみやかに警察および関係機関に連絡します。

●記録速報QRコードについて

記録速報のQRコードについては、競技場入口に掲示する。

＜感染防止のための全般的な注意事項＞

- ① 大会1週間前から体調管理チェック表を記入し、競技場入場時に各個人で提示する。

※以下の項目に該当する場合は、自主的に参加を見合わせる事。

- ・体調が良くない（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

※提出する前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自信でも保管すること。

※チェックシートの7日以内のチェック欄に何らかのチェックがある場合、入場することができない。ただし、ワクチン接種によるものは考慮する。

- ② アップ中または競技中以外はマスクを着用し、手洗いを徹底する。
- ③ 3密（密閉・密集・密接）回避行動を心掛ける。
- ④ ウォーミングアップは極力個別に行う。
- ⑤ 競技終了後および競技用具使用後は手洗い・手指の消毒をする。
- ⑥ ゴミは各自で必ず持ち帰る。
- ⑦ 競技者同士の会話は極力避け、招集中・移動中・待機中はマスクを着用する。
マスク着用による熱中症に気をつける。
- ⑧ 声を出しての応援、集団での応援は行わない。（拍手や手拍子などをお願いします。）
- ⑨ 競技者は指定入場時間に来場し、自分の競技が終わったらできる限り速やかに帰宅する。
(競技場滞在時間をできるだけ短くする。)
- ⑩ 競技者および役員以外の応援者・観客の競技場内（スタンドを含む）への立ち入りを禁止する。ただし、チームの顧問や代表1名は団体受付で、体調管理チェック表を提出すれば、入場可能とする。
- ⑪ 参加者は、大会終了後2週間は健康チェックをする（体調管理チェック表【大会後／個人管理用】を活用する）。症状が4日以上続く場合は必ず最寄りの保健所、医師会、診療所等に報告する（症状には個人差があるため、強い症状と思う場合はすぐに報告する）。また、保健所、医師会、診療所等に相談後、必ず大会主催者に報告する。
- ⑫ 大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任を負わない。